

# ふたばっ子とともに

R4. 5. 28

今日(5/28)は、晴れ渡る空の下、「ふたばっ子チャレンジタイム」を行いました。一言、とてもすばらしいふたばっ子チャレンジタイムでした。

子供たちは、5月の連休明けから教科の学習活動等がある中で、先生方とともに計画的に準備を進めてきました。

私は、テント下で、会場の様子を見守りながら、感動と感激で胸がいっぱいになる瞬間が何度もありました。

どの学年の子供たちも、それぞれに頑張りや輝きが随所に見られ、自分で、また友達とともに、楽しく充実した時間を過ごしていることが分かりました。また、本校職員が、その子の思いや動きに合わせて言葉を掛けたり、アイコンタクトを交わしたりしながら、子供たち一人一人を支えているのも分かりました。そして、保護者の皆様が、御自分のお子様に限らず子供たちの頑なりに拍手を送ったり、称賛の言葉掛けをしたりして、地域の皆様とともに子供たちを温かく見守ってくださっているのも感じられました。

参観者を入れ替え制にさせていただいた関係で、閉会式には、5、6年生の御家族の皆様のみしか御入場いただけませんでした。

そこで、先日(5/27)の開会式同様(開会式は、直接、子供たちに話した内容ではありませんが…)、本日(5/28)の開会式で子供たちに伝えた話(こちらは直接話した内容です)を紹介したいと思います。

## ふたばっ子チャレンジタイム閉会式

令和4年5月28日(土)

ふたばっ子チャレンジタイム、楽しかったですか。どの学年の皆さんも、とてもよく頑張りましたね。

5、6年生は、全校のみんなが運動会に楽しく参加できるように、それぞれの係の仕事に一生懸命取り組む姿が、とても頼もしく感じられました。そして競技や演技では、さすが高学年らしい堂々とした姿に、またきびきびとした動きに感動しました。

3、4年生は、一人一人が団体競技やダンスに、力一杯取り組んでいる姿が見られ、とてもすてきでした。

1、2年生も、笑顔いっぱい楽しそうにダンスをしたり、ゴールを目指して力いっぱい徒競走をしたりする姿が輝いていました。

どの学年も、開会式で発表したためあてに向かって、元気いっぱい取り組ん

でいました。そして、みなさんが、友達や先生方とともに力いっぱい頑張る姿が見られ、とても嬉しかったです。

では、みなさんに2つのことを聞きたいと思います。

1つ目。このスポーツ大会で、あなたは「主役になったな」と感じられる場面がありましたか。みんなの先頭に立って、目立って動くことばかりが「主役」という事ではないと思います。自分が「やってみよう」「がんばろう」と考えたことに、一生懸命取り組んで、「やってよかったな」「がんばれたぞ」と感じられた瞬間があれば、その時、あなたは「主役」になっていたはずです。ぜひ、自分が頑張ったことを先生や友達と話し合ったり、振り返りの日記や感想に書いたりして、確かめてみてくださいね。

2つ目。どの学年の競技、演技や運営にも、新たな挑戦がたくさんあった「ふたばっ子チャレンジタイム」でした。さあ、準備、練習、そして本番を終えて、今、あなたはどんな気持ちですか。

「全部やり切ったぞ」と、満足感いっぱいですか。「もう少しできたな。もっとこうすればよかったな。」という、少し悔しい思いのある人もいるかもしれません。実は、「もう少し」と感じている人は、「がんばれなかった」のではなくて、あなた自身がこのチャレンジタイムを通して大きくなった、つまり成長したからです。だから、「もっとこうしたかった」「こうすれば、これができるかもしれない」と感じたり、考えたりしている子いるのではないかと思います。その思いは、きっとこれから先の活動や来年度のチャレンジタイムに活かしていくことができるはずです。

みなさん、今日、家に帰ったら、おうちの方に、がんばったことや楽しかったことなどを話してください。「もっとこうしたらよかった」「こんなふうにしたかもしれない」というアイデアがあれば、それも伝えてみてください。そして「たくさんの応援をありがとうございました。」と校長先生が話していたと、おまけで伝えてくれると嬉しいです。

暑い中、とてもよくがんばりました。すばらしいチャレンジタイムになりました。さあ、次は、どんな目標に向かって頑張りますか。

昨年度までの2年間、コロナ禍の中でも子供たちに学びや活動の機会を保障したい、また行事を通して得られる感動を一つでも多く味わわせたいという考えのもと、従来行われてきた運動会とは、少し違うスタイルでの活動を工夫してきました。

今年度もコロナ禍であることに変わりはありません。それでも現在の感染状況を捉え、感染症対策を講じながら、可能な限り、子供たちの思いや力が発揮できる行事として「ふたばっ子チャレンジタイム」を実施できたと思います。

この陰には、子供たちが頑張ったことはもちろんですが、本校職員の日々の指導と協力体制(手前味噌ですみません)、そして何よりも、保護者や地域の皆様の御理解と御協力があったからこそと感謝しております。本当にありがとうございました。

ここで得た力を生かして、子供たちが、次は何に、どこに向かって歩いていくのか…楽しみです。